

「一瞬一瞬を大事に」

放送作家・海老原さん

西彼杵高で講演



コントを披露した2年生コンビと海老原さん（中央）
—西海市、西彼杵高

西海市大瀬戸町の県立西彼杵高（松尾修校長、145人）でこのほど、佐世保市の放送作家、海老原靖芳さん（66）が「笑いの力」をテーマに講演した。「高校時代の一瞬一瞬を大事にして」と呼び掛けた。

県教委の「心に響く人生の達人セミナー」事業の一環。海老原さんは県立佐世保南高卒。大学卒業後、放送作家として活躍し、ザ・ドリフターズのコメディイ番組や吉本新喜劇などの台本を執筆。2010年から寄席などで日本語の豊かさを伝える活動を始め、12年に佐世保に帰郷した。

海老原さんは子どものころ、テレビが大好きだったと語り「自分が好きなこと

を蓄積してほしい。今も人生は選択の連続だ」と継続の大切さを説き、高校の同級生との交友が現在につながっていると強調した。

事前に海老原さんの指導を受けた2年生の田崎颯太さん、吉田秀輔さんが方言を交えたコントを披露。海老原さんは「みんなの前で演じた自信は将来につながる。一緒に笑った今日の気持ちを大切に」とエールを送った。
（佐崎智章）